



# History

キラリを再発見

## 新野地区初の発掘調査遺跡

新野地区では、現在41箇所<sup>※</sup>の埋蔵文化財包蔵地(遺跡)が見つかっています。市内の埋蔵文化財包蔵地の総数は118箇所<sup>※</sup>で、その内の3分の1以上が新野地区に所在しており、市内で最も遺跡の多い地区です。

新野地区の遺跡の中で最初に発掘調査が実施されたのが西ノ谷西横穴群です。西ノ谷西横穴群は、昭和49年ころ発見され、昭和52年4月に発掘調査が実施されました。4基の横穴墓が調査され、古墳時代後期後半から奈良時代初めごろまでの須恵器、土師器、玉類、直刀などの副葬品が数多く出土しました。

須恵器の造られた年代から、7世紀中ごろに一斉に掘削が始まり、奈良時代初めごろまで追葬が行われたと想定されます。

※追葬とは、1度横穴墓に人を葬った後、同じ横穴墓に違う人を葬ることです。



▲出土した土器類



▲出土した勾玉まがたま

●市内新野地区



## 埋蔵文化財包蔵地 西ノ谷西横穴群

# Atomic

暮らしと原子力

原発周辺の津波堆積物を調査中

中部電力では、東北地方太平洋沖地震とそれに伴う国の動向を踏まえ、本年8月から浜岡原子力発電所の敷地内とその周辺の津波堆積物調査を実施しています。

### 【調査の目的】

浜岡原子力発電所の敷地と周辺で過去の津波発生状況を確認するためです。

### 【調査する区域】

浜岡原子力発電所の敷地と周辺区域(敷地の東側、箆川流域、新野川流域、菊川流域)

### 【調査の方法】

各調査区域内で4〜10本程度、深さ約5〜50メートルのボーリング調査を実施し、採取した土石に含まれる津波堆積物の有無や年代、分布を確認します。ボーリング調査の本数や深さは状況により増減するということです。

### 【調査の期間】

調査期間は本年12月までとされていますが、状況により延長される場合があるとのことです。



※浜岡原子力発電所の津波対策工事の進行状況は、「御前崎ケーブルテレビ122チャンネル」で放映しています。